

1. 単元名 「草津市の花、あおばな ～たくさんの人にあおばなを広げよう～」

2. 単元の目標

○あおばなについて調べたり考えたりしたことを、目的を明確にしてまとめることができる。

(知識及び技能)

○体験したことや調べたことをもとに、課題を見だし、あおばなの良さを伝える手段を考えたり、伝えたりすることができる。

(思考力・判断力・表現力)

○あおばなを多くの人に知ってもらおうとする目的意識を持ち、意欲的に体験に参加したりまとめたりすることができる。

(主体的に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では草津市の花である「あおばな」について取り上げ、あおばなの育て方や、あおばながどのような花なのかを取り上げて学習を進める。笠縫小学校には、学区内にあおばな農家があり、実際に農家の方が毎年あおばなの植え方や、育て方、摘み方などを指導してくださる。また、摘んだあおばなの汁をしぼり、和紙に塗ることで、かつて友禅染の下書きにつかわれていた「あおばな紙」を作る体験も行っている。実際に地域の方と関わったり、体験を通したりすることで、あおばなへ親しみを持つことができる。また、あおばなには身体に良い成分もあり、給食にあおばな粉を使った献立が登場することもあるので、こどもたちにとって、とても身近な存在である。

しかし、かつては草津市にたくさんあった、あおばな農家が現在は数件になってしまい、あおばなを作れなくなる危機に陥っている。草津市の花であるあおばなをなくさないために、多くの人に知ってもらい、あおばなをもっと広げていこうと児童が考えられる教材である。

(2) 児童観

本学級の児童は学習への意欲が高く、1つの物事に対して一生懸命考え、自分たちで物事を解決しようとする姿をよく見かける。特に、友だちと相談をしたり、質問をし合ったりして問題解決をしようとすることが多い。また、身の回りの実態から課題を見つけたり、新たな発見をして次につなげようとしたりする姿をよく見かける。しかし、自分の考えをまとめて表現することを苦手としている児童が多く、自分の考えを上手く伝えられなかったり、調べたことをそのまま読んだりするだけの児童の姿も見られる。本単元はあおばなについて、自分たちで調べたことを伝える手段を考え、地域の人たちに広げる学習であるため、児童の表現力を高めることのできる良い機会になる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず給食の食器に描かれているあおばなについて、自分たちが知っ

ていることを出し合い、あおばながどのような花であるかを交流する。特に、あおばながかつて友禅染の下書きに使われていたことや、あおばなを使用した食品も数多くあること、血糖値の急上昇や脂肪の蓄積の予防など、健康に良い影響を与えていることなどを取り上げて児童にあおばなに対する興味を持たせていきたい。

笠縫小学校の地域にはあおばな農家の方がおられるため、実際にあおばなを植える体験や摘み方などを学んでいく。また、あおばなは夏の暑い日の早朝に花が咲き、早めに摘まないと花がしぼんでしまうということを学び、花を摘む体験につなげていく。

また、このようなあおばな農家がどんどん減っているため、あおばなを多くの人たちに知ってもらうことや、こんなすごい花をなくさないために自分たちには何ができるのかを考えさせたい。特に、多くの人たちにあおばなを知ってもらうために、自分たちはどのような手段であおばなのことを伝えていくのかを考えさせることが大切である。伝える相手は誰なのかということや、そのためにどのような手段がふさわしいのかなどをしっかりと相談させていきたい。

これらの活動を通して、地域の人たちにあおばなを伝えられたと言うことを振り返らせ、さらに自分たちにできることは何かを考え、話し合わせることを通して、これからの活動にもつなげていきたい。

#### (4) ESDとの関連

##### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

多様性…あおばなには、友禅染の下書きに使われていただけでなく、食べることができ、健康に良いということ。

有限性…あおばな農家がどんどんへっているため、後継者がおらず、栽培が困難であること。

連携性…あおばなを育てたり広めたりするために、いろいろな人の力・知識が必要であるということ。

##### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

クリティカルシンキング

あおばなの良さを広めるために、どのような方法が良いか考える力。

長期的思考力

あおばなをなくさないために、これから先、どのような取り組みが必要なのか考える。

コミュニケーション力

あおばなのことを伝えるために、友だちの意見を聞いたり、自分の考えを発信したりする。また、地域の方との関わりを大切にする。

協働的問題解決力

友だちと協力して、あおばなについての意見をまとめたり、あおばなの良さを地域に発信する方法を考えたりする。

##### ・本学習で変容を促すESDの価値観

人権・文化の尊重

草津市で大切にされてきたあおばなを広め、これからも大切にしていきたい気持ちを持つこと

幸福感を大切にします。

食やものづくりを通して、地域とのつながりを持つこと。

関連するSDGs

4 教育

12 持続可能な生産と消費

15 陸上資源、陸の豊かさ

(4) 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① あおばながどのような花なのか、どのようなよい所があるのかを理解している。</p> <p>② 学んだり調べたりして得た知識を言葉や絵、図などを用いてまとめている。</p>	<p>① 資料をもとに課題を見だし、あおばなの良さを広めるために、自分たちには何ができるのかを考えている。</p> <p>② 友だちとの話し合いを通して、より良い表現方法を考えている。</p>	<p>① あおばなの良さを広めたいという目的意識を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>② あおばなの良さを広めるために、自分たちには何ができるのかを模索しようとしている。</p>

(5) 単元の指導計画 (全24時間)

学習活動	○学習への支援	評価
<p>1 あおばながどのような花なのかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の食器にイラストがある</li> <li>・毎年、3年生が植えている</li> <li>・笠縫小学区には、あおばな農家がある。</li> </ul>	<p>○児童が親しみを持ちやすいように、給食の食器を導入として活用する。</p> <p>○あおばなの昔話を通して、友禅染の下書きや、植え方について押さえられるようにする。</p>	<p>ウ① (主体的)</p>
<p>2 あおばなについて調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくは、オオボウシバナといって、ツユクサの一種</li> <li>・あおばなの汁は、かつて友禅染の下書きに使われていた</li> <li>・6月下旬から8月下旬に花が咲き、朝のうちに摘まないとしぼむ</li> <li>・あおばな食品もあり、健康に良い。</li> </ul>	<p>○あおばなを植える体験を行い、今後の見通しを確認する。</p> <p>○あおばなの良さを伝え、児童にあおばなについて興味を持たせる</p> <p>○地域の実態をつかませるとともに、伝える手段を提案する。</p>	<p>ア① (知・技)</p> <p>イ① (思判表)</p>
<p>3 あおばな染め体験をする</p>		

<p>4 あおばながこれからどうなっていくか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家が草津で1件だけなので大変だ</li> <li>・あおばなの良さをもっと広めたい</li> <li>・地域の方や、保存会の方が、あおばなを大切にしているんだね。</li> </ul>	<p>○あおばな農家が1件だけなので大変ということから、草津市だけでなく、多くの人にあおばなの良さを知ってもらおうと考えさせる。</p>	<p>ウ② (主体的)</p> <p>ア② (知・技)</p>
<p>5 あおばなの良さを知ってもらう方法を考え、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に紙芝居をしに行こう</li> <li>・動画を撮って見てもらおう</li> <li>・あおばなフェスタがある</li> <li>・図書館にあおばなの昔話がある</li> <li>・事前に、幼稚園の先生に聞いてもらう</li> </ul>	<p>○伝える相手が誰なのか、また、どのようにしてつたえるのかを考えさせる。</p>	<p>イ② (思判表)</p>
<p>6 活動の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおばなが広まるといいな</li> </ul>		